

会議録

会議の名称	令和3年度第1回加東市まちづくり推進市民会議		
開催日時	令和3年11月5日(金) 14時から16時10分まで		
開催場所	滝野図書館 会議場		
議長の氏名 (座長 梅 野 巨 利)			
出席及び欠席委員の氏名			
〈出席委員〉			
・繁 本 泰 孝	・古 田 照 代	・山 本 貴 也	・吉 田 亘 秀
・梅 野 巨 利	・立川さおり	・依 藤 栄 一	・井 上 綾 乃
・北 嶋 照 子	・黒 崎 和 子	・後 藤 和 也	・田 尻 信 生
・平 川 米 一	・村上加奈子		
〈欠席委員〉			
・坂 本 泰 三	・須 田 康 之	・南 椋 太	
出席した職員の氏名及びその職名			
〈事務局〉			
・まちづくり政策部長 小林勝成	・まちづくり政策部企画政策課長 下岡正裕		
・まちづくり政策部企画政策課副課長 高田 篤	・まちづくり政策部企画政策課係長 村上計太		
・まちづくり政策部企画政策課主事 横山寛之			
〈事務局以外〉			
・こども未来部長 広西英二	・こども未来部参事 後藤浩美		
・こども未来部参事 神田英昭	・こども未来部小中一貫教育推進室長 柴崎俊之		
・こども未来部小中一貫教育推進室副課長 丸山真矢	・こども未来部発達サポートセンター所長 友藤由貴子		
・こども未来部発達サポートセンター主査 牧野恵里	・こども未来部こども教育課長 井澤彰子		
・こども未来部こども教育課副課長 稲岡めぐみ	・産業振興部長 小坂征幸		
・産業振興部農政課長 神戸 剛	・産業振興部農政課主査 小西翔太		
・産業振興部農地整備課長 大橋博英	・産業振興部農地整備課副課長 進藤恭輔		
・産業振興部商工観光課長 原田幸広			
議題、会議結果、会議の経過及び資料名			
1 議題及び会議資料			
(1) 副座長の選出			
【資料1】加東市まちづくり推進市民会議設置要綱			
(2) 報告・協議事項等			
ア 令和3年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について			
【資料2】令和3年度加東市まちづくり推進市民会議について			
【資料3】〔総括シート例〕第2次総合計画 前期基本計画 総括シート			
【資料4】〔事務事業点検シート例〕事務事業点検シート			
イ 第2次加東市総合計画前期基本計画の総括について			
【資料5】第2次総合計画 前期基本計画 総括シート〔政策Ⅰ・Ⅴ〕			
【資料6】事務事業点検シート			

2 会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	1 開会 2 座長挨拶 3 副座長の選出 4 報告・協議事項等 (1) 令和3年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について ○資料について事務局から説明 (2) 第2次加東市総合計画前期基本計画の総括について ○政策Ⅰ主要施策(1)の一次評価内容について担当部署から説明 【質疑応答等】 ◆主要施策(1) 小中一貫教育の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	○政策Ⅰ主要施策(2)～(4)の一次評価内容について担当部署から説明
	◆主要施策(2) 確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成
委員 参事	・ALTとはどういう意味か。
委員 参事	・アシスタント ランゲージ ティーチャーの略であるが、英語の授業に入ってもらふ外国人講師のことである。
委員 参事	・ALTは何人いるのか。
委員 参事	・令和2年度は、小学校に4人、中学校に3人配置し、令和3年度は小学校に4人、中学校に2人、義務教育学校に1人の計7人を配置している。
委員 参事	・全てのALTは市内在住なのか。
委員	・中学校に配置しているALTは、市内在住で市が直接採用している。その他のALTは派遣である。
参事	・まちづくり指標の中学3年生の英検3級相当以上の英語力習得率についてであるが、どれくらいの生徒が英検3級を取得していて、「相当以上」というのはどういうことか。
委員 参事	・英検3級を取得している中学3年生は34.4%です。また、通常の授業や市独自の「かとう英語ライセンス制度」において検定試験を行っている。これらの成績などを考慮して相当以上の英語力を持っている生徒が49%いると捉えている。
委員 参事	・かとう英語ライセンス制度を行って効果は表れているのか。
委員 参事	・検定試験として英検I B Aという客観的な判定ができる試験を導入している。また、スピーキングテストでは、ALTに協力してもらいながら臆せず英語を話す力が身につくように取り組んでいる。生徒は緊張しながら話しているが、終わった後は達成感を感じて教室から出てくる様子が見て取れる。生徒の意欲の向上にはつながっている。
委員 参事	・少人数指導についてであるが、コロナ禍でもあるので、何か工夫はできないのか。
委員	・今年度から小学校2年生を35人編制とした。今後、順次小学校については35人編制にしていく予定である。小学校の算数や、中学校の数学、英語については、クラスを半分にしたり、習熟度別にして少人数で授業を行ったりしている。また、複数の教員での授業や、スクールアシスタントの配置などにより児童、生徒の支援をしている。
参事	・加東スタディライフについてであるが、勉強を教えてくれる人もいて、いい取組だと思うが、宿題をしないといけないということになっていた。今の小学生は習い事などで忙しい子が多いので、学校でも支援してもらえないか。
委員	・放課後の補充学習については、宿題をしてもよい学校もある。また、目的をもって取り組んでいる学校もあり、学校により取組が異なる。いただいた意見は学校に伝え、今後の参考にする。
委員	・陸上部がない中学校に、陸上部をつくることはできないのか。ここ数年、小学校

参事	6年生が卒業するときに署名活動を行っている学校があると聞く。
座長	・部活動については、児童、生徒や教員の数が減っている状況であり、部活の種類についても見直しが必要になっていると考えている。小中一貫校を整備していく過程で検討する。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(3) 心の教育の推進 ※質疑応答なし
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(4) 健全な子どもを育てる環境づくり ※質疑応答なし
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
	○政策Ⅰ主要施策(5)の一次評価内容について担当部署から説明
	◆主要施策(5) インクルーシブ教育の充実
委員	・福祉部局とは連携しているのか。
所長	・相談内容に応じて、保護者に了承を得た上で連携している。
委員	・直接関係はないかもしれないが、子どもが生活する環境で強い香りがするものをつけないというような指導はしているのか。また、それに関連して過敏症の子は発達障害にも影響があると思うが、そのことについてはどう考えるか。
主査	・香りについての相談は受けたことがないため、学校で話したことはない。また、過敏症については、発達障害の特性の一つではあるが、相談があればそのときに必要な助言をしている。
委員	・発達障害の子に過敏症の症状が出るというようなことを先生全員に周知したりはしているのか。
主査	・先生向けの研修会では話をしているが、各学校に赴いて全ての先生に話をするといったことはしていない。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
	○政策Ⅰ主要施策(6)の一次評価内容について担当部署から説明
	◆主要施策(6) 幼児教育と保育サービス等の充実
委員	・3歳未満児が認定こども園等を利用することにより児童館の利用が少なくなっていると聞いている。これに伴い、子育てサークルの活動の規模が縮小されたり制限をかけられたりというようなことはあるのか。
課長	・認定こども園等の利用者は増えているが、それにより児童館の規模を縮小するというようなことは考えていない。
委員	・新型コロナウイルス感染症の影響としては、どのような事があったのか。
課長	・まちづくり指標の児童館等来館者数で例年であれば7万人から8万人程度の利用があるが、令和2年度は約半分になっている。これは閉館期間や利用自粛があったためである。閉館中は、電話での相談を受け付けており、できるだけ相談を受け付けるように工夫した。また、病児・病後児保育については、登録者数は増えたが、利用自粛により利用者数は減少した。
委員	・待機児童がゼロになるということはあるのか。
課長	・保育士の確保が十分でないため、それを解決して待機児童ゼロとなるように取り組んでいる。
委員	・問題は保育士数で、定員については余裕があるのか。
課長	・すでに定員も超えているが、保育士を確保できれば定員の120%まで弾力的な運用ができるという基準があるため、それを適用して今後申し込みのある児童に対応したい。
委員	・待機児童が1人から2人ということであれば、保育士を1人増やせば解決できる

課長	のか。
座長	・保育を希望する時間と保育士の勤務時間や、保育室の面積基準等をクリアすることができれば保育士1人で解決できる。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	○政策V主要施策(30)、(31)の一次評価内容について担当部署から説明
座長	◆主要施策(30) 力強い農業経営の実現 ※質疑応答なし
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	・事務事業点検シートの農業振興一般事業(地区農会補助)であるが、一次の判定は△であるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次の判定も△とする。
委員	◆主要施策(31) 農産物のブランド力向上と生産拡大
委員	・コロナ禍で山田錦の出荷が非常に減っている。農協や出荷業者と連携を密にして山田錦の生産を維持できるような施策を継続してやってもらいたい。
課長	・現在、山田錦乾杯まつりをウェブで行っている。ウェブサイトでお気に入りの日本酒を購入してもらえると、それが農家や酒蔵への支援になると考えている。また、令和2年度には、北播磨3市1町で共同して特産品の購入に要する費用の2分の1を支援する事業を行った。
委員	・加東市の農業に関する環境を整備していただき、将来、後継者ができ、また、農業が発展するようなビジョンを考えてほしい。
課長	・令和4年度に地域農業活性化ビジョン後期計画を策定するが、山田錦ブランドをいかに高めていくか、担い手の問題をいかにして解決するかというようなことを議論し、しっかりと計画したいと考えている。
委員	・もち麦が特産品になったということで食べてみたが、他の地域で作られているものと違いがなかったためがっかりした。もち麦を特産品としている市町村は珍しいと思うため、有機栽培しているとか特色を出してもらいたい。
課長	・関係者に聞いた話では、加東市のもち麦は苦みや雑味がなく他の地域のものと比べても上出来であるという評価をもらっている。加東市のもち麦の作付面積は100ヘクタールを超えており、北海道の市町村には及ばないところはあるが、このような面積を作付けしているところは非常に少ない。また、有機栽培については、加工業者の関心が非常に高く、それが付加価値になるとは認識しているが、栽培に手間がかかる。何とかそのような新しい方向で栽培につなげたい。
委員	・農業散布をヘリコプターからドローンに変えることはできないか。
課長	・ドローンの優位性については業者も理解しているため、市からも働きかけはしている。しかし、業者も投資に対する回収ということもあるため、なかなか変えられないのではないかなと思う。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
委員	○政策V主要施策(32)、(33)の一次評価内容について担当部署から説明
副課長	◆主要施策(32) 農村環境の整備等の推進
副課長	・団体営ため池等整備事業について、予算の執行率が低いのには理由があるのか。
委員	・入札による減額と、この事業は国庫補助事業であり、国の予算が年度末に補正されるため、市でも3月の議会で補正し、年度内に執行できないため、執行率が低くなっている。
委員	・森林においてナラ枯れが増えている地域があるため、森林パトロールを強化して地域の方に危険がないようにしてもらいたい。
副課長	・ナラ枯れについては、3年ほど前は加東市内ではほとんどなかったが、現在では全市域に広がっている。兵庫県と一緒にパトロールを行っており、ナラ枯れの状

座長	況はある程度把握している。令和4年度からは危険な木については、地区から要望があれば間引くといった事業を開始する予定である。 ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(33) 鳥獣被害対策の推進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。 ○政策Ⅴ主要施策(34)～(36)の一次評価内容について担当部署から説明
委員 事務局	◆主要施策(34) 商工業の振興 ・産業高度化・新産業創出事業は重点の枠に「○」がないが、該当しないのか。 ・重点の枠に「○」を記載するのは、前期基本計画の重点戦略に該当する事業であり、再度重点戦略を確認し、該当するようであれば資料を修正する。
委員	・企業誘致等推進事業について、新たな工業団地用地の創出を実現するために予算を確保して行ってもらいたい。
課長	・今は既存の空き地に対して誘致しているため、大きな費用が掛かるということはない。
事務局	・新たな工業団地用地の創出については、政策Ⅷ・まちづくり政策部の取組が主な内容になるため、それについては第4回会議で説明する。
委員	・工業団地の工場長の方々と話をすると、加東市の位置は高速道路も走っており利便性が良いとのことである。山林の開発も視野に入れて検討してもらいたい。新たな工業団地ができれば人も集まるし、総合的にまちの開発が進むのではないか。
事務局	・加東市でも働く場所の創出は重要なこととして、以前から新たな工業団地用地の創出に取り組んでいる。山林の開発許可については比較的とりやすいが、費用対効果がよくないため、持続可能な行政運営ということでいくと平地での創出を目指している。
委員	・協働の取組の企業誘致と操業継続支援等の充実の方向性であるが、この項目は新たな雇用の創出につながる最重要項目であると思うから、○ではなく◎にしてもらいたい。
課長	・企業誘致は非常に困難な事業であり、市内を見渡しても空き地がなかなか確保できない状況である。全く何もしないということではなく、引き続き企業誘致用の適地を検討するということで○にしている。
座長	・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	・事務事業点検シートの創業支援事業であるが、一次の判定は△であるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次の判定も△とする。
座長	◆主要施策(35) 観光の振興 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	◆主要施策(36) 労働・雇用の促進 ※質疑応答なし ・一次評価はBであるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次評価もBとする。
座長	・事務事業点検シートの雇用促進事業（就労環境充実）であるが、一次の判定は△であるが、それで良いか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
座長	・二次の判定も△とする。
5	その他 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した際の会議の開催方法につ

座長	いて ○事務局から説明 ※質疑応答なし ・新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した際の会議の開催方法については、事務局の説明どおり、書面開催とし、評価については多数決、同数の評価があった場合は座長一任でよい。
座長	〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕 ・事務局案のとおりとする。 6 閉会

令和3年12月13日

座長 梅 野 巨 利
 副座長 山 本 貴 也